〔昭和十年三月三十一日第三種郵便物認可〕　昭和十年四月五日　磐城新聞　〔金曜日〕　第四千二百八十九號　〔一〕

夕刊
磐城新聞
四月四日發行
〔日曜祭日翌日休刊〕

炭礦民俗誌 小稿

山口彌一郎

八

四、石炭の名稱

石炭の文字は石炭に關する文獻の發行された當時既に使用されてゐる。本草綱目には時診日として石炭の文字が見ゐ、本邦にては大和本草に石炭と書いて『もゑいし』と讀ませてゐる。倭漢三才圖會にも石炭の文字があるが『いしすみ』と訓じてゐる。この外物類品隲、本草綱目啓蒙、本草綱目品目、白河燕談等に出る石炭にも『いしずみ』又は『もえいし』『からすいし』と訓ずるのみである。岡田博士に依れば最初に『せきたん』と音讀を與へたのは二四三二年の雲根志に於ける木内小繁であると言ふ。石炭の異名は非常に多く各地方に依つて異なるは勿論炭質に依り又は塊の大小に依つて種々用ひられたものらしい。支那にては現在も煤炭の文字を用ひる如く天工開物等の二四三一年頃にも煤炭と記してあるのをみる。倭漢三才圖會にも煤炭石黒、鐵炭、焦石、烏金石の外石炭に『いしずみ』及び『シッタン』と訓じてゐる天工開物には『煤有三種、有明煤、碎煤、末煤』とあるが石炭塊の大小に依つて名づけたものであらう。大和本草には石炭を『もえいし』と訓ずる外『すくもと訓ずる説あり、非是、すくもは別物』とある。當時すくもと誤稱したものもあつたらしい。大和本草批正の金玉十石の項石炭に次の如き説明がある

もえいし、あぶらいし、いつき、うに、伊賀、長門、筑前より初めて掘出す。かげ山には必ず產すと言ふ。天工開物に品類を委く分つ。輕あり、重あり、黒くして漆の如く光あるあり。褐色を帶ぶるあり。伊賀にていしうに、ちゞみうに、つちうに、わたうに、きうに、竹うに等の名を分つ。皆紋まで分つなり

本草綱目啓蒙にはからすいし、いしずみ、いはしば(筑前)馬石、うに(伊州)あぶらいし(播州)等の地方別の名稱を擧げてゐる

につゝまれて
山人や大樹の下に行水す
行水や柿の實落ちて秋近し

島田忠夫四月號雜誌執筆目錄

○『恐庵和尚』(二)(ローマ字世界)
○童話『良寛さま』(おともだち)
○譯詩『頬白の巣』(兒童と家庭)
○童謠二篇(童話時代)
○隨筆『春山』(同)
○童謠時評(一)(同)
○短歌『春服』(短歌と方法)
○詩(婦人子供報知)
○童謠(同)
○童謠(途上)
○隨筆(同)
○童話『地藏さま』(ローマ字の友)
○童詩二篇(兒童と健康)
○童謠(アサヒコドモの本)
○研究(歌壇新報)
○短歌十首(星座)
○童謠二篇(生誕)
○山岡鐵舟に就て(同)
○隨筆(醫學ニュース)
○短歌八首(レツエンゾ)

潮聲硯靜抄帳

凍る　席上互選

傾きて庭石土に凍てにけり　香村子
凍てる夜の鋪道に高き靴の音　眞砂常
せゝらぎの風落ち暮れて冱るかな　石城
拾はんとしたる乞食や凍草履　竹羊

森里句鈔

伊達森里

腹切りや夕浪立てる賢沼
腹切りや田植盛りの晝餉時
キャンプ村見る見る霧

寄贈書目

△月刊東京朝日　横山順氏の主幹に係るもの、本號には麻生久、河崎なつ、加藤勘十氏等執筆(一部十錢、東京市豐島區西巣鴨二ノ二一七の東京朝日評論社)
△國民法律四月號(一部十五錢、東京市芝區二本榎一ノ四七其社)
△兒童と家庭四月號(一部二十錢、東京市下谷區上

磐女校友會誌 かをりから

果敢なき人生

三年　門馬佳江

『みさをちゃん〳〵』いく度よんでもみさをちゃんは返事の出來ない人になつてしまつたのね!。どうして〳〵死んでしまつたの……何にもかなしみもない私は

みさをちゃんの美しい長いまつげ、そして黒水晶の如く美しく澄んだ瞳、可愛らしい小さい口、それを見るのが私の唯一のたのしみだつたのに…。いゝえ私だけではありません。だれでもみさをちゃんの病氣の早くなほるやうにとお待ちしてをりましたのにあゝ、併し何んといふ果敢なき命で

らう。たつた一年たらずで此の世から、姿をけすといふことは……。火葬場にはいつて長い煙突を見上げ煙の出なくなるまで泣いてないて泣きつゞけてしまつたの。今でもえんこしてにつこりと美しい白い齒を少し出して微笑んでゐるお顏が目にちらついてなりません。花になつてたくさんの

た星樣の中その一つがみさをちゃんではないかとうたがひます

しかし今頃は極樂淨土で多くのお地藏樣たちにとりかこまれて蓮の花の上でいつものやうに、につこりとしてゐるであらう。併し火葬場でさわつた儀の如くつめたいかたい頬のことが思出されてなりません

野櫻木町九其社)

4月5日

△永井尙志海軍を起す(安政元)△辯護士職服制定(明治二六)△佐藤デ杯選手マラッカ海峽で自殺(昭和九)

その日〳〵

○

花も咲かぬに桃の節句となつて、古びた雛人形をとり出して飾りつけたが、雛人形は、いつまでも虫もつかずに美々しく見ゐる。

講談

戸隱奇譚 山の怪秘 (149)

丸山寛雄作　眞木浪齋

板橋夜話(五)

柏戸かな女は、もう身も

世もない思ひで、駕籠に取りついてゐな〳〵と顫へてゐるだけである

『驚くに當らぬ。これしきの奴、暫く拙者の働き御覽下され』

平七郎・全身の血潮がわく〳〵と二の腕に込み上げて來た。相憎月影もなき眞の暗で具合は惡かつたが、片端から斬捲る覺悟で一刀を構へた

夜空に白刃が時々弧を描いて、あちらこちらに銀の糸を曳く、こんどは少しは腕の出來る無頼漢を集めて來たらしい

平七郎は右に拂ひ、左に斬りしてゐるうちに、忽ち數人の者は折重つて打倒れてしまつた

『口ほどにも似合はぬ奴等だ。一人二人は面倒だ。束になつて掛つて來い!』

平七郎は闇の中へ怒鳴つた。しかし彼の手並に恐れをなした殘つた連中は何時の間にか逃去つてしまつた

平七郎は倒れてゐる奴の袖で刀身を拭ふと、ピタリと鞘に納めた。その音を聞いて安心したものか、柏戸かな女は飛びつくやうに平七郎の腰にすがつた

『刈馬さま』

感謝と喜びに充ち溢れた聲だつた

『相手は、ならず者の集まりでござる。拙者物の數でござらぬ』

平七郎は自信あり氣に云つた

それから二人は其處に落ちてゐた駕籠屋の提燈を捜して、夜道をたどりながら歩き出した

『刈馬樣、貴方はどうしてあのやうにお強いのでございませう』

『はゝゝ、別段强いと云ふわけでも御座らぬが、相手が弱すぎるのでござらう』

平七郎は、かな女を勞はりながら夜道を歩いて行くかな女の吐く息が、平七郎の頬に暖く感じられた。それは平七郎にとつてお豐以來のなつかしい女の感じだつた

『刈馬樣は、江戸は始めてでございますの』

かな女は訊いた

『左樣でござる。ちと念願あつて初旅を江戸へと志したものでござる。しかし拙者、この旅によつて人生の種々の事を見申した。鄕里を出るときの父上のお言葉、今はつきりと胸の中に應へたやうでござる』

平七郎は感慨深さうに云つた

行く手の夜道は暗かつた

しかし平七郎も、かな女も心の明るみを見出してゐたお互に戀と云ふにはあまりに淡いものだつたが、平七郎はかな女を姉のやうに思へて慕はしくてならなかつた、かな女も亦、平七郎を弟のやうな頼もしさを覺えてゐた

『刈馬樣、御手の傷は痛むやうでございますか、なんでしたら、一寸こゝに藥の持ち合せがございます。御手當して進ぜませう』

かな女は平七郎が先程の亂鬪で少し籠手を傷けて、そこから血が流れてゐるのを見て、かう云つた

『左樣でござるか、あまり痛みは致しませんが、ではお願ひ申す』

平七郎は路傍にうづくまると、右手の提燈を手許へ持つて行つて明るく照したかな女は、小さな藥箱を包みから取出すと、叮嚀に膏藥をなすりつけてやつた夜はしんとして靜まり返つてゐる。夜道には人ッ子一人通らない

平七郎は、手當終へると厚くかな女に禮を述べて立上つた

廣告

株式賣買、債權取立
合資會社 三共商事
平町大町電三六〇

新入學生靴

中等學生用編上	¥ 4.00	ヨリ
女學生用靴	¥ 4.30	ヨリ
中等學生用(注文)	¥ 6.00	ヨリ
女學生用(注文)	¥ 5.00	ヨリ

他紳士型、靑訓生用靴豐富取揃へテアリマス。

菊地靴鞄店
平 四・電六五九

大塚の男女學生靴 景品付き大賣出し

信用得る……自製品
●學生ボックス編上靴　六、〇〇ヨリ
●女生通學靴　五、〇〇ヨリ
●女學校指定靴　五、五〇ヨリ
外小學生通學靴各種
ゴム長靴……ランドセル
運動靴……景品雜記帳牛打進呈
御用は
平・田町
大塚製靴運動具部
電話七七番

ミシン
學生募集
◆地方唯一の洋裁專門學校
新學期四月五日
申込は今―絶好期
氣安く習へる個人的敎授
磐城女子洋裁學院
ミシン使用無料材料貸與
本校は學費の要らぬ學校
新設―夜間敎授　寄宿舍完備す
規則二錢切手要ス
平町二丁目二番地

祝御入學記念
時計・眼鏡賣出し
三月十五日ヨリ四月十五日マデ
『無言の雄辯は諸君を招きます』
御目出度い御入學御進學が近づきました。御祝に是非正確な時計を御求め下さい。
●精工舍腕時計　十ヶ年保險附　七圓五十錢。
●眼鏡類は學生諸君に限り一割引。
平町五丁目(釜屋前)
金光堂時計店
電話一九五番

(入院應需)
小兒科
平町南町五〇番地
志賀醫院
電話一六二番

耳鼻咽喉科專門
病室完備
自炊ノ便アリ
平町田町(電六九一)
山内醫院
醫學士 山内亨吉

ホシ胃腸藥に就きて

星製藥株式會社顧問辯護士
東京市神田區錦町一ノ一
辯護士 法學士 花井忠
東京市丸の内二ノ八
辯護士 法學士 成富信夫

一　各位の熟知せらるるが如く株式會社大阪製藥所(元株式會社星製藥所其前芝商事株式會社)はホシ胃腸藥(ホシアンチツベルケン、ホシチオール等を含む)の商標權に關し、東京地方裁判所及び東京控訴院に於て法理上及事實上より完全に敗訴したるものなるに、賣藥販賣人に對して欺瞞的宣傳文を以て益々其製品の販賣を奬勵するを以て、賣藥販賣人中にはホシ胃腸藥が星製藥會社のものたることを承知しながらも、其宣傳文を口實として之を販賣し居るものあり、かくては製品の品質上、商標の信用上一般需要者は欺瞞を蒙り本社と共に其の蒙くる損害は甚大なものがある、玆に其販賣者に對して假處分の執行を爲すに至りたる所以である。

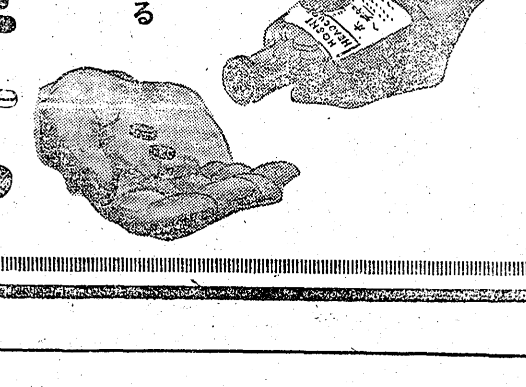
二　一般賣藥家に警告す、法治國は法の根元たる良心に從ふべきことを命じて居る、健康を賣るこ同樣の商賣を爲し居るものは國法を尊重するは勿論、職業的良心に服從せねばならぬ、ホシチエーンストア中萬一之を犯すものあらば其罪一層重きものなることを知らねばならぬ。

三　人間の生命に關する藥品取扱の重要職業にあるものは須らく其の使命を自覺し法の指圖を待たず良心の指圖に依りて自己の步むべき道に處さねばならぬ。

敢て警告す。

昭和十年三月

クスリはホシ



頭痛專門藥
ホシヘデキユア
たつた二粒!! けろりと癒る

主治効能　偏頭痛、頭痛、顏面神經痛、眩暈、宿醉、中酒腦貧血、逆上惡心、其他の頭痛に卓効あり

用法用量　頭痛時一乃至二錠服用、小兒には用ひず

ホシチエンストアー平支部
ホシ藥舖
平町三丁目三〇 電話四二九番

作業服を晴着に替へ 前後三日の歡樂境化
各炭鑛の山神祭近づく

戸外には薄氷さへ張つた昨夜から今朝へかけての寒さは論外として、卯月も既に初酉を過ぎて、山裾を這ふ炭鑛の煙ら柴に、滅切り春の潤ひを見せて來た斯くして遣つて來るのが各炭鑛最大の年中行事たる山神祭である、而も今年は軍需インフレに温つた懐ろ具合から各山とも例年以上に張り込むらしくそろ／＼お祭り景氣が漂ひ初めた樣子である、祭りは十五日から三日間で其間花火、芝居、相撲、映畫、浪華節、其他多數の餘興に全山を擧げて歡樂境化し、各々自山の伸展向上を謳歌して解放された三日間を愉快に過すわけである。

賑ひに拍車する 創立四十年記念
入山の尖端的各種餘興

三日間打つ通しの賑ひは各炭鑛とも何れ劣らぬものあるが殊に入山は今年が恰度創立四十周年に當ることゝて一層之を盛大ならしむべく此程同社神苑倶樂部に氏子總代會議を開いて例年以上の豫算を計上し、各區に於ては夫々豫定に從ひ飾り物、行列の準備をさく／＼怠りなく神樂行列は本年から四坑方面、五坑方面交代に受持つことに變更、抽籤の結果本年は五坑方面より出す事になり、四坑方面では青葉區、東區より一つづゝ行列を出すことになつた。飾物は各區一つづゝで仄聞するところに依れば青葉區の飾物は娘道成寺、行列狐の嫁入、東區は飾物忠臣藏七段目、行列大名行列、臺の忠區龍宮、八仙區飾物曲垣平九郎愛宕山の場、社宅では相ひ變らず飾門、若連の神輿らしく、若連の神輿は先月頃から新調中で各區長が頭を絞つた意匠は如何に現はれるか祭典當日は無かし見物であらうと期待されてゐる、四十周年紀念式は十五日午後二時より入山グラウンドに盛大なる記念式を擧行、職員、從業員共十年以上勤續者に記念品を贈呈し表彰さるる模樣である

精神作興記念擧式

既報＝郡下小學校教員會では昨三日の全國小學校代表者精神作興大會御親閲記念日に當り午前九時より平第一校に記念式を行つたが郡下より現職員約六百名參集、副會長佐藤內郷高坂校長の開辭、國歌合唱、敎育勅語並に小學校教員に賜りたる勅語奉讀、教育歌合唱、文相訓示、宣言決議文朗讀、宮城遙拜、萬歲三唱し同十時より福島師範教諭室本和助氏の約二時間に亘る記念講演『國民精神と教育』あり正午閉會した

入山野球部振ふ 聯合軍を迎へて
華々しく爭覇接戰 商平中磐

永い間の冬眠から醒めた入山炭鑛競技部では昨今漸く跳躍の季に入ると共に斯界の雄芦川機械係長蒲田久之助氏等指導の下に着々活動を開始したが、そのうち野球部では今シーズン劈頭の腕試しとして來る二十八日の最終日曜をトし同社グラウンドに於て磐中商職合軍對入山新人對抗試合を、同日湯本町營グラウンドに於て、同社野球部對磐中戰を何れも行ふ筈で今から各關係選手及ファンの血を湧かしめてゐる

。。。。。同社各部大會 同社今月中の豫定行事次の如し
廿四日東倶樂部で菊花部委員會、廿八日職員倶樂部で棋道部圍碁大會、同上臺の山弓道場で弓道部道場竣功弓道大會

。。。。。賣店價格査定 本年度公園臨時賣店販賣品價格査定七木委員會は九日午後三時

滿蒙と國防博へ 新＝兵＝器＝着＝荷
會場更に精彩を加ふ

前記出陳に精彩を添ゐる陸軍兵器本廳からの高射機關銃、九十式小空中聽音機、曲射歩兵砲(彈丸附)狙擊砲(同)並に陸軍航空本部の落下傘、飛行機模型等は何れも昨三日着荷した

から公園內に開く

第一小學 新級長

平第一校では今四日左記正副級長の任命式を行つた
(三年)一組 千葉文彦 高階要 二組 大嶺慶一 古市光之 三組大和田一郎 作山和男 (四年)一組根本孝三郎 豐口秀哉 二組伊關次郎 鈴木一男 三組藤居喜一郎 柏木洋二 四組國府田信良 石田吉男 (五年)一組小野晃平 磯上剛 二組水野敏夫 二片英治 三組鍋田三省 牧野好夫 (六年)一組齊藤齊 木下藤三 二組正木秀夫 山崎常三郎 三組龜山正邦 小松崎富夫 (高一)一組大畑俊夫 竹村彌實 二組木田菊壽 市川勝次 (高二)一組藥谷公義 佐藤進 二組金成忠美 武藤金吉

農會代議員當選者
…其後判明の分…

郡下農會代議員當選者中其後判明せる分左の如し
(湯本町)若松孝平 比佐彦太郎 宮本政 北郷一 高木憲造 箱崎孝平 高木晁 永山善彌 矢吹莊治 坂本文治 矢吹昌智 木村重五郎 (江名町)近藤吉松 中田仙吉 秋山徹 小松孝一 作山喜作 及川富太郎 伊落主税 丹野彦太郎 丹野妙吉 太兼吉 吉田源平 作山源三郎 田中勘三郎 大平祇美 馬目寅松 片寄定次郎 (澤渡村)阿部佐一 松崎保房 佐藤靜 吉田隣三郎 吉田仲治 佐藤與一 平山藤吉 鈴木信次 大竹末藏 佐藤嘉吉 草野義孝 加藤彦左工門 加藤喜八 吾妻富治 折內泰治 阿部勝衛 (小名濱町)高木常吉 小野長松 草野良太郎 飯塚勝次 後田義之助 高木保吉 小野長吉 志賀要平 小野治郎助 高木喜一郎 長瀬要 松本讓 菅原彌作 飯塚藤右工門 小野元造 松本新雄 (豐間村)政井民男 鈴木留吉 鈴木惣次平 小野寅吉 鈴木藤三郎 鈴木文十郎 大平駒吉 志賀重右工門 阿部源兵衛 遠藤惣三郎 遠藤傳馬目仙十郎 (夏井村)箱崎義範 大和田正一 矢吹德藏 馬目玉之助 坂本喜代松 靑木與平治 坂本大炊之助 大友一馬 大和田政直 山崎武平 矢吹幸輔 渡邊佐重 木田近重 久保木茂彌 箱崎末藏 市井憲雄

地方を震駭させた 血煙事件豫審へ
加害者の一名も死亡

去月二十七日早朝植田町本町山田屋旅館に於て仕事と室違ひから亂鬪の末錦村中田昭和人絹工場內土木請負業川崎市生れ倉島保太郎(四二)を即死せしめ、同木村清吉(三四)に瀕死の重傷を與へた勿來町大字酒井字堀之內土工荒川又一郎(四五)錦村中田富岡飯場內埼玉縣入間郡飯能町小岩井生れ土工山田倉藏(三二)同字七一東京市王子區王子町生れ土工富岡正三(三八)同字山口縣厚狹郡小野田町生れ土工鈴木利行(三六)同字茨城縣多賀郡松岡町生れ齊藤義夫(三六)の五名に關しては事件以來平檢事局白水檢事係り嚴重取調べ中の處、愈々今四日、亂鬪の負傷から遂昨三日死亡した齊藤義夫を除き、四名は傷害致死及び傷害罪で起訴平支部の豫審に廻付された

滿洲事情の認識
博覽會を觀る……

(S記)

◇從來のものと較べてその殆どがパノラマ風になつてゐる處に今度の『滿蒙と國防博』の特異性が窺はれる、館は滿洲事變の回顧に滿洲國の紹介及國防の体系を示した三部門より成る滿蒙館と產業二棟の附屬館があるがその主体は滿蒙館であり、滿蒙の事情を正しく認識せしめんとする謂はゞ滿蒙曠野の縮圖だ

◇本館內に入ると先づ正面に國都新京の大ヂオラマ場面、停車場を中心とした殷賑振りの中に極彩色の樓門を配した表現は滿洲氣分を味はせるに充分であり、事變突發から錦洲爆擊、昻々溪附近の戰鬪、滿洲國獨立、馬占山討伐、興安嶺突破、熱河北支の擊戰過程から滿洲國承認迄に至るヂオラマの八場面と併せ見る人々の思ひ出は新らしい

◇更に我軍長城附近黃土嶺の敵陣兩濟を型取つた現代戰の一大パノラマ場面は野戰の各種模型兵器並に聞拔人形を配し敵前へ模型戰車を電動廻轉裝置により敵陣突破の狀況を現した點などの新味が加り實戰を髣髴せしめてゐる

◇陸軍省出陳物の數あるなかに大越中佐自刄(パノラマ風)は地方關係者丈けに亦格別の感じを湧かせそれに

――李宮堡の急を南部旅團長に報じて救ひを求めんとした大越中佐は兵卒二名を從へて重圍を衝いて出たが途中身に數彈を受け……傳令卒によつて報告書は無事旅團長に達したが……身の傷手は起つを得ず報告書に今だに有名な述懷書を認し拳銃で自刄

なる說明により一層當時の苦衷を偲ばれるものがある

◇滿洲國情况場面は大平原模型式となした產業紹介の外滿洲國陸軍の整備しつゝある現況、奉天市街滿洲國風俗の大觀等何れもパノラマ式の十一場面より成り其他圖表、統計表を揭出して人口密度、商業、產業等を數字的に表示してゐる

◇常磐炭界を背景にした空襲下の防禦無き炭礦地帶の慘狀に對して要地防衛を型取り平町松ヶ岡公園に陣取つた高射砲隊の襲來敵機掃蕩狀況等、何れも新案登錄幻燈器や電動廻轉並に擬音を打込んだ一大パノラマの場面である、空襲防禦の認識はこゝでも喚起せしめてゐるのだ、此の外石城沖合を舞台とした近代的大海戰のパノラマ場面や、國旗をバックにした各國軍備比較場面等により國防の重要さを示唆してゐる

※――※

滿蒙と國防博 館內そゝろ歩る記
(E生)

(上)

◇昨日の休みを利用して◇

平町の今三春を飾る滿蒙と國防博を瞥見した。傍系興行の國際レヴュー團から流れる輕快なメロデーに誘はれ中町の會場に至れば正面には何々博覽會と大書した正門を通して正面に本館西手に產業館を、匆々の間に計劃實現した憾はあるが方に

◇朱殿碧樓の感ある建物◇

が鮮新な色彩から居氣樓然と浮立つてゐる、入口の直ぐ右手は別館とでもいふか小軀ながら辛さあるを思はせる、正面の『某國太平洋輪型陣』が艨艟幾百舳艫相啣み觀衆をして太平洋注目を强調してゐる、その右手には90式小型空中聽音機が國防色に身を固め科學戰到來空を守れ／＼をほのめかす、對して館東側を

◇高橋光山社中の紫山流盤景◇

が世の非常時をも知らぬげな天下泰平を思はしめて觀光日本の縮圖である、その傍には即席コーヒーが雄辯る、順を逐うて小型高射砲、追擊砲その他が『戰器の驚異』をひもどかせる……次が會場西側の產業館で伊關呉服店始め佐藤木工、正木織物、高島屋洋服

◇天地堂、森下玩具、正金商會◇

大金眼鏡、和久井屋、ホシキニーネ、愛國碎土機、なかや洋服、シンガーミシン等々が出張り、浪越會が軸物まで陳べて書道研究者の入會を希めてゐる、いづみ屋玩具に迎られ愈々本館へ……本館正面、高塔の下から入らんとせば入口傍には歩兵砲が何れの方をか威喝してゐる、入つて正面は

◇『滿洲國都新京』の大場面◇

近代東洋式建物模型が滿洲風極彩色の背景と共に實感を現して先づ今博覽會計劃の偉を思はしめてゐる、對して入口右手に陸軍省出品と銘打つて郷土の傑物、軍神大越中佐か最後の狀況を高粱生ひ茂げる李宮堡の三月七日悽慘な背景の戰場と

◇配光ごにより現はでゐる◇

傍には日淸、日露兩戰役滿洲事變の大小相異を一目瞭然ならしめ進めば同じく日淸、日露兩役、滿洲事變をヂオラマ風に現して自分達が幼て時見た錦繪の平面を立体として生かしめる

大成功の 納稅奬勵節
聽者一萬五千名

平稅務署では納稅思想普及のため既報の如く去る二月十五日から三月二十六日迄郡內各町村で三十六日間前後三十八回に亘り浪花節大會を開いたがこの入場者は一萬四千五百八十一名に上つたと

春！氣は緩む

禁斷の構內で 炭拾ひ中轢かる
老婆手當効無く絶命

好間村大字北好間字堂田二二號新潟縣北蒲原郡柴田町生れ長平姉石井シツ(六二)は三日午前三時半頃出入禁止の同村萩原炭鑛坑口附近で炭拾ひ中折から疾走して來た炭車を避けんとして誤つて胸部其他を轢かれ重傷間もなく絕命した

遊戲中の小兒轢傷
責任は當人の叔父

小名濱町字高山六玉龜三男柳內孟(五)は三十日午前十一時半頃孟の叔父に當る同五百枚(一八)が埋立の炭殼運搬のためひいてゐた荷馬車に頭部を轢かれて治療中だつたが昨三日遂に死亡した

。。。。。兩警部補著任 平署新特高主任長澤代潮並に同司法主任齋藤藤三兩氏は昨三日着任、今四日町內各方面を歷訪就任挨拶をなした

之は作業中
內郷の若い採炭夫

內郷村大字宮字宮川八採炭夫吉田幸吉(三三)は三日午後八時半頃同村磐炭綴坑で作業中誤つて炭車に轢かれ重

弓道審査會
受驗者四十一名

大日本武德會主催の弓道階級審査會は昨三日の神武天皇祭をトし平署弓場に開かれたが受驗者は遠く長野縣三名の外遠來者を交へた四十一名中(三段志望)六名(二段)十五名(初段)二十名で磐女生二名が制服で受驗してゐたのも人目をひいた尙決定發表は來廿日頃にならうと

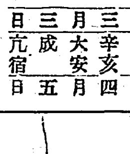
。。。。。平町方面委員會 五日午後一時半から開き十年度豫算其他を協議

縣第一回 產看試驗
志望者百八十五名

本縣今年度第一回產婆試驗は來十、三十日、看護婦科は十一、十二の兩日何れも福島公會堂で開くが平署管內の受驗者は產婆六十三名看護婦百二十二名であると

お披露目

山形家から菊千代(一七)が出現、折紙つきの良い妓ではあるが、但し『云ふ事を菊千代』かどうかは保證の限りに非ずとある



舊	金曜	新
三	辛亥	四
月	大安	月
三	成	五
日	亢宿	日

諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白の人 上に抗はず下を惠む時は大吉日と成るべし▲二黑の人 陸運の日にして何事にも吉し但し口舌注意▲三碧の人 工夫すれば爲る程失費に迫ばるゝ日守勝吉▲四綠の人 出費はあれども傍より入り來り餘裕のある日▲五黃の人 奮勵する時は自己の手腕を發揮するを得▲六白の人 初め整けれども終りを愼しむべき日金談緣談凶▲七赤の人 進むは吉けれども不慮の出來事に注意すべし▲八白の人 仕入れは注意すべきも他の事は遲迭すべし▲九紫の人 誘惑に乗らず家業專一と勵むときは吉なり

五日 (小名濱測候所調査)

日出 五、二〇 月出前 五、五四
日沒 六、〇一 月沒後 八、一三
滿潮前 四、二〇 後 五、四〇
干潮前 一一、一〇 後 一一、二五

廣告

久野電氣工業所
發電機 マグネットチアージ 蓄電池 コイル モーター
…試驗機完備…
一般電機捲替並修理
平町紺屋町五三 (呼電)三六六番

書生募集
高等小學卒業程度(十五才ー十八才迄)
履歷書持參・一切面會ノ上採用
面會時間午前十時ー十二時迄

小間使募集
十四五才の女子(年老ニテモ可 但、小供好キノ者)
一切面會ノ上採用、面會時間午前十時ー十二時迄
平町十五丁目(警察署裏新川通り) 鹽谷茂雄

自轉車ハ左記 有名車を御撰擇下サイ。
世界的ニ進出セル ◎宮田ノ自轉車
夙ニ堅牢輕快ノ定評アル ◎ゼブラノ自轉車
實用經濟車トシテ好評アル ◎マーノ自轉車
◎マーツ號ノ好評ヲネタミ半頭灼肉ノ策ヲ用ヒ偽物ヲ販賣ナシ商權ヲ侵害ナシツヽアル者アリ法的解決ニヨリ御得意樣ノ御了計ヲ得ン
宮田代理店 ゼブラ代理店 マーツ代理店
エビスヤ商店 電六六四

生徒募集
◎陸海軍人ヲ志願シタイ人
◎少年航空兵ニナリタイ人
◎鐵道員ニナリタイ人
◎遞信官吏ニナリタイ人
本校ニ學ンデ此等ニ合格シタル實例ハ澤山アリマス。
磐城青年學校 平町城內

內臟外科一般 外科花柳病科 (入院隨意)
平町六丁目(橋際)
木村外科醫院 電話三〇九